

登米市立加賀野小学校の防災教育講演会で講演しました(2016/2/19)

テーマ：学校防災，防災教育，みやぎ防災教育推進協力校事業
場所：登米市立加賀野小学校体育館

2月19日（金），登米市立加賀野小学校体育館において，防災教育講演会が開催されました。主催は登米市立加賀野小学校であり，加賀野小学校教職員，保護者，行政区長，市内小・中学校の希望教職員など，約100名の参加者となりました。

登米市立加賀野小学校は，みやぎ防災教育推進協力校事業（平成27年度は全16校）のモデル校の一つであり，「地域ぐるみの防災教育推進事業実行委員会」の設置・運営等，学校と地域との連携による防災教育が推進されている学校です。

佐藤健教授（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）による講演では，「地域ぐるみの防災教育の推進について」と題して，地域の自然条件と人々の暮らしとの関わり（自然の二面性・恵みと災害）を理解できる子どもたちを地域ぐるみで育むためには，学校教育や生涯学習の場面で教育を支援するための「地域の教育力」が重要になると言及しました。また，「土地に根ざした学び」と探究は，防災に役立つことはもちろん，自然の恩恵を受けることを含めた持続可能な地域づくりにとっても重要な「知」を生むことにつながることも述べました。

なお，加賀野小学校の大きな特色として，家庭・地域・学校が協働し地域全体で子どもを育てることを目的に進めていく学習として，「コラボ学習」に取り組んでいることや，登米市の施政方針として，市内全小・中学校の「コミュニティ・スクール」の指定を段階的に進めていく方針であることについて，鈴木真喜夫校長より教えて頂きました。「コラボ学習」の理念や「コミュニティ・スクール」の枠組みは，地域ぐるみの防災教育の実践と高度化にとって有用なものであり，登米市内の小・中学校における今後の防災教育の展開に高い関心を寄せることができます。



佐藤健教授による講演



会場の様子

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）